

平成23年第2回（6月）定例会 一般質問

6月17日（金）

16番 宮成昭義 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 葬斎場の方向性について	① 今ある葬斎場は、合併前の形で三重町と大野町の2か所で4機中3機が稼働しているようであるが、この2か所の施設は老朽化が著しく豊後大野市としてどのような形での葬斎場を目指すのか伺う。	市長	
2 中学校における武道必修化について	① 取組状況と用具の取扱いは。 ② 指導者対策は。 ③ 衛生対策は。 ④ 安全対策は。	教育委員長	

1番 神志那文寛 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
<p>1 市民のいのちと健康を守る国保制度に改善を。</p>	<p>① 高額療養費の払い戻しは、すでに勧奨通知を行ったか。いつ、どのように行ったか。</p> <p>② 国保税の滞納者に対する短期被保険者証、資格証明書の交付は慎重に行っていただきたい。</p> <p>イ) 交付状況はどうなっているか。</p> <p>ロ) 資格証明書の交付については、悪質滞納者であることを立証する責任が自治体にあるが、その判断は誰がどのように行っているのか。</p> <p>ハ) 高校生以下の子どもには、短期被保険者証を速やかに届けているか。</p> <p>ニ) 大人でも、生活困窮者には短期被保険者証を交付しているか。また市役所(支所)に長期にわたって留め置きしていないか。</p> <p>ホ) 短期被保険者証の交付によって、国保税の納付が進んでいるか。納付の意識が向上しているか。</p> <p>③ 国保税の滞納者に対して生計費を差し押さえることは違法であるが、どのようなものを差し押さえているのか。</p> <p>また差し押さえの結果、痛ましい事故に至る事例は発生していないか。</p> <p>④ 税率改正によって、所得300万円4人家族で43万1,500円(負担率は14.38%、介護分を除く)にもなる。高すぎる国保税の引き上げをやめよ。</p> <p>⑤ 国民健康保険は社会保障である。医療費に占める国庫負担の割合を「医療費の45%に戻す」など、国に負担の増額を求めよ。</p> <p>イ) 市はどのようなことを求めているか。被保険者一人当たりいくらの税額を引き下げることができるか。</p> <p>ロ) 『国保ガイド』の「助け合いの制度」という標記を改めよ。</p> <p>⑥ 国は「国保の広域化」に向けて、保険料の引上げ、収納率の向上、医療費適正化策などを自治体に指示している。</p> <p>「国保の広域化」は市民にどのような影響をもたらすか。問題点はないのか。</p>	<p>市長</p>	

20番 首藤正光 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 「1メートルからの民主主義」という橋本市長の基本姿勢について	<p>① 橋本市長が市政を担当してから、丸2年が経過した。これまでの施策や事業の推進、さらには人事案件等に関し、思いつきや短絡的な発想が目立つが「1メートルからの民主主義」が図られているのか。</p> <p>② 「トップダウンが多く、職場に民主主義がない」という声をよく耳にする。市長は職員に対して、常々「専門性や政策能力の形成を」と唱えているが、まちづくりの最前線にいる職員の下からの議論の積み重ねがなくしては、職員のレベルアップは図れないことは言うまでもない。その手法のあり方、組織の動かし方に矛盾が生じているように思えるが、どのように総括するか。</p>	市長	
2 下赤嶺地区大型店進出計画について	<p>① 計画の現状は。</p> <p>② 計画が実現した場合は、市に現地法人の設立を。</p> <p>③ 経済効果はどれくらいあるか。</p>	市長	

13番 高山豊吉 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 自然災害に強いまちづくりについて	<p>(1) 急傾斜地や浸水が予想される地域等への防災対策・事業にどのように取り組まれてきたのか。</p> <p>(2) 災害に備える避難訓練等の取組を、更に進めるべきではないか。</p>	市長	
2 企業立地への取組について	<p>(1) 立地条件をいかした企業誘致に積極的に取り組むべきであるがいかがか。</p>	市長	

9番 小野泰秀 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 公立保育園の 民営化について	① 第2期集中改革プランでは保育所の民営化は計画的、段階的に行うとなっているが、その意味では拙速すぎないか。 ② 移管業者の選定に当たっては、委員会を設置することになるが、その構成員は。 ③ 移管先が決まらなかった場合は。 ④ 緒方保育園を公立とした理由と公立として存続させる期限はいつまでか。 ⑤ 引き継ぎに当たっては、入所している子どもに配慮すべく「移行期間」を設けるべきではないか。 ⑥ 「子ども・子育て新システム」について、執行部の見解は。	市長	
2 介護保険について	① 本市の保険料が大分県1位となっている要因と、それを抑制する方策はあるのか。 ② 3年を1期として自治体ごとに設定される第一号被保険者の保険料が、来年度は第5期目となるが、いくらくらいになるのか。 ① 平成24年度からの実施に向けて、「介護保険法の一部改正」があるが、その主なポイントは。	市長	

平成23年第2回（6月）定例会 一般質問

6月20日（月）

5番 佐藤辰己 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 今後の介護事業について	① 豊後大野市老人福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会委員の一般公募の現状は。 ② 認定率が高い原因はどこにあるのか。 ③ 広域化に向けた運動展開は。	市長	
2 葬斎場建設について	① 今後のスケジュールは。 ② 建設における指針案は。	市長	

17番 深田征三 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 行政評価システムについて	(1) 平成21年度事務事業評価シートが、本年、平成23年第1回定例会開会の翌日、議会全員協議会にて、報告説明を受けたが、いまだ理解することが難しく、本市の行政評価システムとは何か、評価シートの実施概要説明1から4までの整合性を改めて問う。 特に、3の課題の解決に伴う方針転換について、議会公表の時機は適当であったのか、本市の行政評価システムになじむものか尋ねる。 (2) 次に、評価シートの反省に基づいた、見直し・今後の改善への取組の有無について質問、改善があれば、評価システムは、誰もが使いやすいものでなければならない、誰が見ても分かりやすいものでなければならないと考えるが、その具体策について伺う。	市長	
2 中学校教育について	清川中学校移転改築事業について、これまでの経緯として、公立小中学校施設に対する国の「地震防災対策特別措置法」に基づく、「豊後大野市立小中学校及び幼稚園の耐震化についての基本方針」、次には、「豊後大野市学校施設耐震化計画」が議会全員協議会に報告され、平成23年度予算では清川中学校移転改築事業費9億7,762万5,000円が議会では可決され、建築に向かって進捗しているものと承知している。 しかし、耐震化のみで判断すれば、改築もやむなしと判断しておりましたが、本年度の清川小学校から同中学校への進学状況からしたとき、中学校教育のあり方、生徒の学習環境とは何かの真剣な議論もないまま、本市の取り組む行財政改革の最中、近い将来大きな禍根を残すことはないのか質問する。	市長 教育委員長	

10番 佐藤徳宣 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 緊急湧水対策について	① 市の緊急湧水対策に取り組んだ時期と対象範囲は。 ② 補助金の適用範囲について ③ 河川から緊急的に取水する時の、河川法や市の条例等との関係は。	市長	
2 市有地の防災対策について	① 市内に有する市道を除く市有地の防災対策について伺う。 ② 防災対策を実施しなければならない市有地の現状の把握は。 ③ 市有地で発生した災害に対する損害補償について	市長	
3 市道の崩壊について	① 市道の崩壊や崩落対策について、現況を把握しているか。 ② 市道に架かる橋梁調査や県が行った市内の県道に架かる橋梁調査の調査結果の公表は。 ③ 市道や市道に架かる橋梁等の崩壊・崩落等の人身事故や物損事故等の損害補償について	市長	
4 市税について	① 合併後における市税の財政計画と実際の歳入額との差額について ② 市民の責任による届け出の過怠に伴う税の納付について ③ 届け出の啓発等について	市長	

15番 衛藤正宏 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 豊後大野市の農業振興について	<p>豊後大野市第2次農業振興計画に掲げたテーマ「チャンス、チェンジ、チャレンジ」。農業の発展なくして、市政の発展なし、この計画達成に向け、農業に挑戦している若者を含め、農業者にどんな支援をするのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人づくり（インキュベーションファーム）新規就農者技術習得管理施設事業の実施について具体的な、ものづくり（産地化及びブランド化）、戦略的品目、システムづくり（行政の支援体制）について ・ 計画の目指す方向 <ul style="list-style-type: none"> * 誇りとやりがいの持てる農業 * もうかる農業の実現 * 若者が残る農業 * 農業による地域づくり ・ 中山間地域の農道の整備について 	市長	

14番 宮成寿男 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 新市庁舎の太陽光発電装置の設置について	<p>東日本大震災で、日本人のエネルギーに対する思いが変わった。 新市庁舎に自然エネルギーである太陽光発電装置をつけるべきと考えるが、いかがか。</p>	市長	

平成23年第2回（6月）定例会 一般質問

6月21日（火）

12番 赤嶺謙二 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 東日本大震災に関連して	<p>(1) 現在、市が把握している義援金の団体数・個人数と金額は。</p> <p>(2) 本市の自然災害に対する防災計画は万全か。見直す必要はないか。</p> <p>(3) 福島第一原発の事故により、脱原発の動きが強まっている。 節電意識の高揚が必要と思うが、市としての考え、市民への啓発は。</p> <p>(4) 職員のボランティア休暇は、現行では最長5日間となっている。 日本全国を想定した場合、10日間くらいの休暇拡大が必要と思うが。</p>	市長	

4番 衛藤竜哉 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 これからの地域医療について	<p>市民病院が開院して9か月が過ぎ、病院の現状について伺う。</p> <p>① 受診者数や入院患者数の状況は。</p> <p>② 院内外の施設等の整備は充分か。</p> <p>③ コミュニティバスや幹線の公共交通機関の見直しを含め、実証実験中と認識しているが、これまでの経過をどう検証するか。</p>	市長	
2 市の中・長期的な施設の整備計画について	<p>市は第3次行革プランの公表を行うところである。市民にとっては非常に厳しいものであるが、財政的には理解するところがある。</p> <p>しかし、いろんな公的施設の見直しをかけて整理を目指していく中で、削減や縮小だけの見直しではなく、5年、10年、15年以上と中・長期的な施設の整理や、整備をする計画を立てていくことも必要と考えるが、伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運動公園、グラウンド、テニスコート、野球場、陸上競技場、公民館など 	市長	

3番 和田哲治 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 取り戻そう『支え合い』・見直そう『地域コミュニティ』を目指す、政策の創設を求める。について	<p>① 薄れ行く「地域の支え合い」が、近年深刻な問題。今こそその再認識を求めて、行政から政策の展開ができないか、橋本市政に求める。</p> <p>② 増加著しい「過疎集落」や「高齢化地域」は『共助・協働』は欠かせない役割。本市で整備、構築されている「要援護者支援システム」の有効活用を望む。</p>	市長	
2 差し迫る、約40億円の歳出削減は、市民へ分かりやすい説明と理解を求め、その具体案について。	<p>① 普通市への移行まであと僅か。これまで検討されてきた「歳出削減計画（案）」を、これからどう実施していくのか、その具体案（全体像）を伺う。</p> <p>② 「行政評価システムの実績」と「内部評価の成果」は、当初予算（事業評価）に、どのように反映されているのか伺う。</p>	市長	

7番 恵藤千代子 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1 母子保健事業について	<p>① 平成23年度、県のまとめた県内市町村の乳幼児健診実施回数を見ると、本市のみ最低の4回、13市町村が6回から8回までである。「現状で大丈夫か」。市の考えを伺う。</p> <p>② 2歳歯科健診、5歳児健診を実施している自治体が増えている。本市では、実施する考えはないか。</p>	市長	
2 買物弱者対策について	<p>① 豊後大野市と市社協が協力を申し出たコープおおいたの「移動店舗販売事業」がスタートしている。導入の経過と今後の展開について伺う。</p> <p>② コープおおいたの「移動店舗販売」も選択肢の一つだが、これまで地域に貢献してきた地元事業者への調整や協議が必要ではないかと思う。市の考え方を伺う。</p> <p>③ 買物難民対策は、本市にとって重要な課題であり、関係する各課の連携など、全庁的な取組が必要であると考えている。今後の対策は。</p>	市長	